

サカエチカ クリスタル広場に 「ミシシッピーワニ」 がやってきた！

7月16日①から、クリスタル広場の噴水の中の動物たちに新たな仲間が加わりました。

3月からニシローランドゴリラのシャバーニと子供たち、アカコンゴウインコやキバタン、東山動植物園マスコットキャラクターのズーボなど、阪大レゴ部がレゴ®ブロックで作った動物たちを噴水の中で展示をしていましたが、今回は夏に合わせて、水の中を気持ちよく泳ぐ「ミシシッピーワニ」をレゴ®ブロックで作っちゃいました。そのサイズなんと2M超！！ しかも水の中に展示を。阪大レゴ部も水の中は初めてのチャレンジということで、私たちサカエチカマチの社員と阪大レゴ部で水上展示にチャレンジしました。

- ① →阪大レゴ部で作製したワニの頭・胴体・尻尾がクリスタル広場に届きました。こんな感じかなと位置を決めて設置台を固定。それにしても大きい！先に展示中のシャバーニに負けない迫力です。



- ② ←輸送途中で足が外れてしまっていて「えーっ！」しかし、阪大レゴ部員3人がバラバラだったブロックを、あっという間に元通りに直してしまいました。私たちサカエチカマチ社員はただただ感嘆するばかり。



③←頭と胴、尻尾をそれぞれ接合していきます。
注射器で接着剤を流し込み、ブロックをはめ込んでいきます。頭や尻尾それぞれが 3Kg～5Kg もあり、外れないようにしっかりと固定しました。
それにしても手際が良い！どんどんブロックをはめ込みつないでいきます。



④←接合終了。前から見てもなかなかの迫力です。
そしていよいよ噴水に入水。
水がいっぱいになる 1 時間弱、無事展示できますようにと祈る思いで見守ります。
そしていよいよ・・・



⑤↑水もいっぱいになり、ミシシッピーワニ（全長 2M 超、幅 80 センチ）の設置が完了しました。設置すぐに子供たちが寄ってきて「ワニだー！」などと叫んで喜んでくれました。

サカエチカにお立ち寄りの際は、ぜひ見に来てください。

11 月中旬頃まで展示の予定です。

また、今後も動物たちが増える予定です。何が増えるかは楽しみに♪
(ヒントはこのニュース最終ページのワニ展示案内 P O P の中にあるよ)

クリスタル広場の動物たちを製作して
いただいている「大阪大学レゴ部」を
ご紹介させていただきます

阪大レゴ部は 2011 年に成立し、現在では約 50 人の部員を抱えております。

アジアで唯一、レゴ社に認定された大学規模の団体であり、阪大の公認サークルでもあります。

「レゴを通してサイエンスの楽しさを伝える」をテーマに、定期的に作品展示会や作品制作、ワークショップなどを、大阪を中心に行っております。

↓今回設置に大阪から名古屋に来てくれた、阪大レゴ部の左から尼子さん、芳川さん、部長の新井さん。どうもお疲れ様でした。





レゴ® ブロックで作った

「ミシシッピーワニ」

がやってきた!!



今年3月の東山動植物園80周年を記念して、阪大レゴ部に製作を委託し、レゴ®ブロックで作った動物たちを展示しております。



【ミシシッピーワニ】

アメリカ南東部の河川や沼、湿地など淡水域に生息し、主に魚、カメ、鳥類、小型哺乳動物を食べます。オスは体長4.5m、体重450kgにもなります。非常に泳ぎがうまく、水中生活に適しています。開発による生息地の破壊などで生息数が減少しましたが、保護により回復してきています。



さらに、9月にはもう2体仲間入り



【シャバーニ】 ニシローランドゴリラ

イケメンにしてイケメンなニシローランドゴリラです。憂いを帯びた瞳にノックアウトされる女性は後を絶ちません。現在は5頭のゴリラのリーダーとして群れを率っています。



【キヨマサ&アニー】 ニシローランドゴリラ

東山動植物園で生まれたシャバーニの子どもたちです。キヨマサは4歳の男の子、アニーは4歳の女の子です。群れの中でゴリラの子供たちが遊んでいる光景を見られるのは、日本では東山動植物園だけです。



【アカコンゴウインコ】



【アオキコンゴウインコ】



【キバタン】

* サカエチカマチ株式会社



大阪大学 レゴ部



2019年11月 サカエチカは、開業50thを迎えます。

